

## 林業普及現地講座が開催されました

平成20年12月2日に一関市室根町の室根山荘で林業普及現地講座が開催されました。

今年の現地講座は昨年に引き続き行なうもので、東磐井地方森林組合の青年部の研修会と合同で開催されました。

東磐井地方森林組合の青年部は旧室根村森林組合の青年部が中心となっており、これまで間伐展示林の整備など様々な活動を行っています。

また、今回の研修会は、久しぶりに気仙地方森林組合と一関地方森林組合青年部との合同研修となりました。

研修内容は、前半、千厩農林センター主催の間伐方法現地検討会に参加し、後半は室内研修を行ないました。室内研修では、講師に岩手県林業技術センターの東野正首席林業普及指導員をお願いし、「岩手県における木材需給の動向」と「木材強度と利用技術」と題して講義を受けました。講義では、国の

木材需要量は昨年 of 建築基準法の改正により、平成19年度以降落ちているものの、違法伐採やロシア材の価格高騰や木材輸出規制等から、わが国の木材産業業界が輸入材から国産材にシフトする傾向にあること。また、あかまつ材青変被害防除技術の開発等成果の報告等を交えた木材利用など最新情報を聴く事ができ、意欲ある青年部にとって大変意義のある研修会となりました。



講義終了後、講師を交え木材利用についての意見交換を行ないましたが、木材の需要を拡大のためには、建築工法レベルから木材利用の挺入れや原油・資材の高騰を受け、木質燃料に対する助成がほしいなどの意見がありました。